



天草高校定時制

# 図書便り (3月号)

令和6年(2024年)3月25日発行

文責 原田

## ～花といえば～

3月20日(水)は春分の日ということで祝日でした。この日より夏至に向けてだんだんと昼の時間が長くなります。様々な条件が重なった結果、日本には四季があるわけですが、古来日本人は“桜”を愛でていました。平安時代の作品に“花”と書いてあれば、それは“桜”を指していたほどです。「花」を見る人」という姿を想像するときに、その人が高いところにある花を見上げているのか、背の低い花を見下ろしているのかでは印象が変わりますね。

さて、図書室のエアコンが壊れていたのですが、新品に交換してもらいました。現在はみなさんに快適な環境を提供できる状態にあります。ぜひ、図書室に本を読みに来てください。

## ～おすすめの本～

皆さんの生活を豊かにできる本を紹介します。

『紫式部は今日も憂鬱』 堀越英美 (著) 他



2024年1月7日から放送されている『光る君へ』。紫式部に焦点を当てたドラマですが、紫式部が書いた本は『源氏ものがたり』と『紫式部日記』が残っています。本書は『紫式部日記』

を若者風の優しい言葉で訳しています。平安貴族の日常を読んでみるのも面白いですよ。

『はたらく細胞BABY』

福田泰宏 (著)



定時制の養護教諭お勧めの本。みなさんに読んでほしいとのことです。新生児の体内が舞台。赤血球さんも白血球さんも新生児バージョンで登場。新生児特有の問題や生理現象なども可愛らしく表現されています。定時制図書室には全巻あります。

『発達障害グレーゾーンの子がグーンと伸びた 声かけ・接し方 大全』

小嶋悠紀 (著)

かなしろにゃんこ (イラスト・漫画)



障害がある人に対する接し方について書いてあります。文字だけで無くイラストや漫画形式でも書いてあるので、わかりやすい内容です。自分のコミュニケーション力を上げるのに役立つでしょう。

『ちくちくとふわふわ』

斎藤孝 (監修) 川原瑞丸 (絵)



10月のストレスマネジメント講習の時、中川校長先生が言った「ちくちくとふわふわ」。嫌なことがあったり、自分の考えが曲げられたりしたとき、あなたはどんな言葉を発しますか？友人がその言葉を聞くとしたら、どんな言葉だったらいい雰囲気になるでしょうか。これも読んでほしい1冊です。